

国分病院

住所	柏原市旭ヶ丘 4 -672	電話	072 -978 -6072
病床数	267 床	病棟数	5 病棟

人権センターニュース No.85 より

オンブズマン活動報告

平成 19 年 10 月 9 日訪問

平均在院日数約 120 日 (H18.10.1 ~ H19.9.30)

病院全体

平成 13 年築の東館とその奥に西館があった。昭和 46 年築の西館は敷地内に新たな病棟を建て直す。平成 20 年に着手し、1 年半で完成予定。週 2~3 回救急当番(月 10 回ほど)の受け入れをしている。西館 4 階に個室を増やすなどスーパー救急病棟の開設に向けて準備を進めている。

病院側の説明

- (1) 人権委員会：人権倫理委員会を設置。委員長は事務長、外部委員は弁護士。開催は年 10 回くらい。投書箱は各病棟と外来に設置。週 1 回、マナー接遇委員会が回収し、投書への回答は掲示する。
- (2) 行動制限最小化委員会：設置している。
- (3) 担当制：担当看護師、担当 PSW 制あり。
- (4) 診察：各病棟に診察室がある。
- (5) 服薬：看護師が病室に持って行って手渡し。
- (6) 外出：院内外出と院外外出がある。それぞれ届出を提出する。患者から、「院内への外出については届出制をやめて欲しい」との声が出て、検討中。
- (7) 金銭管理：管理費は 120 円/日。東館は鍵付きロッカーは全員分ある。西館は鍵を購入すれば各自のロッカーにつけられる。売店では 850 円。近くの 100 円均一店の鍵を勧めている。
- (8) 食事の選択メニュー：週 2 回(昼・夜)。
- (9) 入浴：週 2 回。他に希望入浴日があり、希望者は週に 3 回入れる。
- (10) 面会：各病棟内に面会室がある。デイルームや病棟外でも面会できる。面会時間は家族は午前 9 時 30 分 ~ 午後 6 時、家族以外は午後 2 時 ~ 4 時 30 分。
- (11) 携帯電話：病棟の電話ボックス内、病棟の外で使用可。
- (12) 院内売店：ある。現金か伝票で支払う。
- (13) 地域医療連携室：病棟担当の PSW は 7 名。

-- 東館(2、3階) -----【デイルーム】天井が高く、窓から光が入り、明るかった。テレビ、冷蔵庫、自動販売機、給湯・給茶器、トースター、マンガ、雑誌があった。ゆったりと座れそうなイスがあった。廊下も広かった。詰所は部分的にオープンカウンターになっていた。職員の写真入りの掲示、相談窓口の紹介としてケースワーカーの名前の入りの掲示物があった。

【病室】4人部屋が中心。ベッドごとにカーテン、ナースコールがあった。ベッド間のロッカーは間仕切りの役割も果たしていた。窓から山の木々が見える。

【電話】デイルーム内にあり、個室になっていた。椅子、カード販売機、タウンページがあった。

【トイレ】清潔で臭いもなく、個室もプライバシーは保たれていた。

【面会室】病棟ごとに 2 室ずつあった。各室に 4 人がけの机と椅子が 2 セットあり、間には衝立が設置されていた。家族教室の案内が掲示されていた。

東館 2 階 (閉鎖・急性期治療・男女・51 床)

病院側の説明 急性期中心の病棟。在院期間 3 ヶ月以内、年齢層は 30～60 歳代の患者が中心。閉鎖処遇の患者は 1 日に 1 回程、スタッフ同行で売店へ行く。薬の自己管理は数名。金銭の自己管理は 36 名。アクシデント(転倒、喫煙ルームは男女が 30 分交代で利用する等のルールを守り、トラブル防止など)を最小限にすること、自分で歯磨き等できない方への朝のセルフケアができるよう支援している。

病棟の様子 デイルームには車椅子の患者が 1 名いるだけだった。患者によると「今日は 3 階で催しがあるので」との話だ。

【隔離室】7 室あり、一部にカメラが設置されていた。観察室は 4 室。隔離室は扉を開けると中廊下があり、さらに扉を開けると左側に洋式トイレ、仕切り板、ベッドが窓側に向かって並んでいた。隔離室奥の窓側に通路があった。窓からは緑が見えて明るかったが、窓のシャッターが下りると薄暗くなる。病院側によると「救急の当番日に搬送されてくる患者が入室することが多い。温度は 26 度に設定。手首にはめられるナースコールがあるが、ナースコールを投げる患者には、集音マイクにより看護師を呼ぶ方法を確保している。テレビ設置は 6 室。病状に悪影響がある時はリモコンを渡さない。拘束中の電話は詰所の子機を使い、コレクトコールで掛けてもらう」。

患者の声「職員はそれぞれ雰囲気がある。人によっては『何してんの!』と大声を出すなど怖い人もいる」「外出は 3 階の作業療法室に行く時、午後 2:30～、3:30～、4:30～」「先生は忙しい人、担当の看護師に言うと(先生に)伝えておいてくれる」隔離室使用の患者の声「萎縮してしまい、何でも不安に感じる、とても落ち込んだ、職員に怒られた時は、壁をたたいた」「夜になると、ブラインドシャッターが完全に締め暗くなる。箱にいれられた感じがした。朝になり開けてくれると緑が見えて安心した」「隔離室のトイレは窓際にある。職員から丸見えて恥かしく、しないでおこうかとためらう」(病院側の説明「スモークがかかっているので、頭の影しか見えない」)

東館 3 階 (開放・精神一般 15:1・男女・60 床)

病院側の説明 救急受け入れの為ベッドに空きをつくる、退院促進の役割を持っている病棟。65 歳以上の患者が増えてきた。院外までの開放処遇は 54 名、院内のみ 5 名。薬の自己管理は約 20 名。金銭は約 10 名が病院に預ける。患者からの意見を吸い上げるために茶話会を開いている。患者約 20 名と看護師が参加している。

病棟の様子 喫煙室に数名、デイルームに 2～3 名、病室にいる患者が多いようで全体的に静かだった。洗濯干し場は男性用、女性用にわかれていて、廊下側からも干しているものが分りにくいように配慮がされていた。訪問時、デイルーム付近に職員がおらず、転倒している患者に気づかなかった。病院側によると「休憩時間の関係もあると思うが、患者から『パソコンに向かっていることが多いのでは』という声も出ている」とのことであった。

患者の声「OT 室で卓球をするのが楽しい」「土日は OT がなく、退屈。タバコを吸って過ごす」「診察はゆっくり話せる」「とてもよい(自分にあう)医者がいる」「西館にいた。仲がよかった人がどんどん退院した。自分も退院をすすめられている。グループホームの話などをきいている」「看護師はいい人が多い。話をきいてくれる」「ご飯はおいしい」「困ったことは師長に言う」

---西館（2、3階）-----

東館に比べると、天井の高さが低く、廊下幅や一人当たりの面積が狭いため、人口密度の高さ（現在は解消している）、圧迫感を感じた。

【病室】3～6人部屋。各ベッドにカーテンがあった。ナースコールはなかった。収納スペースはベッドの下以外には特に無かった。

【デイルーム】食事をとるスペースの横に多目的ルームが増築されていて自動販売機やテレビ、ロッカーなどがあった。「にこにこ新聞」を掲示し、デイケアセンターの地域との交流など情報を伝えている。食事をする椅子が丸イスだった。スペースの関係上、建て直すまで丸イスにするしかないとのこと。デイルーム内に電話ボックスが設置されていた。

【隔離室】各病棟の詰所隣に3室ずつあり、ナースコールは設置されていた。水洗は外からの操作の部屋と自動的に流れる部屋があった。患者から「なかなかきてくれない。呼ぶのは無理」との声があった。

西館2階（閉鎖・精神一般15：1・男性・61床）

病院側の説明 50～60歳代の患者が多い。在院期間が長く、慢性期の患者の病棟。薬の自己管理は6名。金銭の自己管理は8名。足腰が弱くならないよう、毎日、廊下からデイルームを全員で歩く等の運動を取り入れている。（訪問時も音楽が流れ、患者が廊下を歩き始める）洗濯や身辺整理など自分でできるように働きかけをしている。

長期入院の解消を進めてきたが、一緒に暮らす家族がいない患者が残っている。病状的にも施設で手厚い介護が必要な患者であり、グループホームや老人の施設に移れる患者もいる。受け持ち患者を決め、チームカンファレンス（作業療法士、PSW、訪問看護師など）で対応していく必要がある。

病棟の様子 避難経路のかかれた病棟内の図が古いままになっていたが、書き直すとのこと。ICUが1室あり、合併症の患者が入っているとのことだった。

【トイレ】小用2、個室は和式4と洋式1で、人数からすると少ないように思われた。複数の患者から「掃除中はトイレが使えないので(廊下にある)ポータブルです」との声があった。病院側によると、掃除中は身障者用トイレを使ってもらうことを再度周知し、ポータブルトイレは撤去するとのこと。

患者の声 「おかずがおいしい」「運動不足で困っている」「2～3名で病棟の周りを散歩する時間がいい」「(ケースワーカーには)めったに会わない、お金に困ったときに相談する」「入浴は週に2回」「(電話は)使いやすい」「(電話は)安心して使える」「看護師に『電話しすぎ』と言われた」「じっくりと診察してくれない」「先生はよい」「1日の時間が長いのに、プログラムがない」「退院についての話はできていない」

西館3階（閉鎖・精神一般15：1・女性・61床）

病院側の説明 50～60歳代が多い。職員同伴外出可の患者が多く、毎日3,4名ずつ数回にわけて売店に行く。薬の自己管理は5,6名で退院が近い患者。金銭の自己管理は15,16名。対人関係の苦情が多く、部屋をかえたり、転棟してもらうこともある。

病棟の様子 デイルームではOTとしてお茶会が行なわれていたり、患者同士で話していたり、東館に比べると、とてもにぎやかだった。

【トイレ】個室が4つあり、和式2室でポータブル設置が2室。トイレ内のシャワー室が物置きになっていた。

患者の声 「看護師がいい人なので助かります」「売店には職員に言ったらすぐに連れていってくれる」「洋式トイレを増やしてほしい」「入院時には病棟のことなど丁寧に説明してもらい、安心した」「障害年金についてワーカーと相談している」「トイレが混む」「患者にもいろんな人がいる。ある患者は自分のことをいじめる」「盗った盗られたのトラブルがある。職員が対応してくれない」

検討事項

【隔離室トイレ周りの囲い】西2、3階

扉の正面にあるトイレ周りには囲い等はなかった。扉には窓があり、病院側によると「便器のところからなかなか出てこない患者がいる時、廊下から顔をみて話かけられる。窓の下半分に目隠し用シートを貼り、工夫した」とのことだった。患者から「前の廊下を通る職員と目が合って恥ずかしくて嫌」との声があった。(病院側の回答：窓の上部にシートを張ります。トイレの前に、廊下側から、職員といえども見通せないように衝立を立てます。現在、施策中。)

【ポータブルトイレ】西館3階

トイレ個室に設置されていたポータブルトイレに排泄物がたまっていた。トイレの出入り口付近まで臭いがしていた。

(病院側の回答：ポータブルトイレを使用した際、ナースコールで職員を呼んで頂く様、患者さんに指導致します。結果、排泄物が溜まったまま放置されることのないようにします。)

【オムツワゴンの便臭】東2、3階

訪問時、おむつ交換のワゴンが病棟をまわっており、廊下に便臭がかなり漂っていた。患者からも「尿と便の臭いがきつい。フロア全体に臭うのを何とかして欲しい」との声があった。

(病院側の回答：(略)オムツを入れる容器や袋を工夫して、便臭を防ぐよう改善します。)

【病室の窓】西2、3階

病室の廊下側に窓があり、すりガラスと透明のガラスが混在していた。

(病院側の回答：西2病棟は、男子のみの病棟であったため、廊下窓の不透明化がなされていませんでした。この度は、不透明化致します。西3病棟は女子のみの病棟であったため、すでにほとんどの病室が不透明となっております。一部もれている部分の不透明化を行います。)

【身障者用トイレ】東3階

廊下に面した身障者用のトイレの扉に長方形の窓があり、扉の外から中が見えた。病院側によると、以前、トイレの中でトラブルがあり、それを防ぐ為に外から中が見えるようにしているとのことだった。

(病院側の回答：この長方形の窓にもシートを張ります。但し、一番下の部分に10cmだけシートを張らない部分を作らせて頂きたい。これは、事故防止のためとプライバシーの保護を両立させるための折衷案として、お許し頂きたい。)

人権センターが情報公開請求で入手した

H19 大阪府精神保健福祉関係資料より (国分病院分)

219名の入院者のうち統合失調症群が180名(82%)、気分障害が23名(11%)。入院形態は任意入院113名(52%)、医療保護入院99名(45%)。在院期間は1年未満が97名(44%)、1年以上5年未満が50名(23%)、5年以上10年未満が25名(11%)、10年以上20年未満が20名(9%)、20年以上が27名(12%)。

(H19.6.30時点)